

## ローカルヒーローによる Twitter 利用の分析

浜田 花林

本研究では、コミュニケーションや広報ツールとして広く活用されるようになった Twitter において、ローカルヒーローがどのような利用方法、またコミュニケーションの取り方の特徴を持っているかを把握することを目的としている。Twitter の利用方法を分析する対象となるローカルヒーローを背景となる物語の量や共有度という観点から選出した。TV シリーズと YouTube でのストーリーのある映像作品を公開している浪速伝説トライオーと、TV シリーズをもたないが YouTube でストーリーのあるショー動画を公開しているダルライザー、そして、公式では YouTube などの動画共有サイトなどに動画を公開していない風天狗リューマインの 3 アカウントを対象とした。選んだ 3 アカウントのツイートを 7 月 16 日の時点で最大 3200 件遡って取得し、ツイートの種類から「ノーマル」「RT」「リプライ」に分類した。次に、ツイートの内容から「自分の宣伝」「他者の宣伝」「雑談」「交流」「設定」「物語展開」「自分達の動画像」「いいこと」に重複可で分類した。そして分類の結果を比較し、それぞれのツイートを読んで分析した。その結果、三者に共通してみられた行動としてリプライの機能を特によく使っており、Twitter をコミュニケーションのツールとして捉えていることがわかった。また、イベント出勤後の写真 RT を多く行い、フォロワーの協力のもと活動状況の宣伝を行っていた。運営団体が企業でスポンサーがついているトライオーのツイート担当者は一アクターであるからか無難なツイートが多い。宣伝的なツイートや設定についての説明などは比較して少なく、TV シリーズがありかつ YouTube の動画再生数が比較的多い為物語の共有度と知名度が高いことが要因であると考えられる。ダルライザーは非公式 RT を多く行い、フォローしあっていないフォロワー同士でも話の流れが分かるようにコミュニケーションをとるという特徴がみられた。また、複数のキャラクターアカウントを運用し、Twitter 上で物語を展開させていた。ダルライザーはツイートをしている人物が団体の総責任者でありかつダルライザーのモデルでもあるということがツイートの内容から分かり、そのためキャラクターのプレを心配することなく思想や志に関するツイートを多くしている。動画再生数はトライオーより少なく、物語の共有度は低いと考えられ、そのため宣伝的なツイートや設定についての説明などが多くなされているという特徴があった。小規模な有志団体のキャラであるリューマインは他者の宣伝的な RT や趣味的なツイートが多く、物語のキャラクターと Twitter でのキャラクターには大きなズレがあり、ツイートの自由度が高いといえる。三者の中でも自分の宣伝をすることが少なく、知名度を上げるという行為には熱心でないことがわかった。これらから、ツイートの特徴は物語の共有度や団体規模、ツイート担当者の団体内でのポジションから決まると言えた。

(指導教員 歳森敦)